次期調布市教育プラン成果指標（素案）

資料4

施策		成果指標 上段：項目 下段：設定理由	数値等確認資料	現状値 （令和7年度実績）	目標値	新規 ・継続	所管課 所管課
1	豊かな心の育成	「いじめはどんな理由があってもいけないこと」を理解した児童生徒の割合 いじめ対策推進法における「いじめはいかなる理由があっても許される行為ではない」という趣旨を理解した児童生徒の割合を目標に設定	全国学力・学習状況調査 設問「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」において「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合	小学校　95．5% 中学校　95．7%	小学校　100．0% 中学校　100．0%	継続	指導室
2	確かな学力の育成	全国学力・学習状況調査（国語・算数（数学））における東京都の平均正答率を上回った各科目の合計ポイント数 現状値と今後の取組を踏まえ、学力向上に関する取組成果を図るため設定	全国学力・学習状況調査	小学校　3．0pt 中学校　8．0pt	小学校　7．0pt 中学校　7．0pt	継続	指導室
		「主体的・対話的に学習活動に取り組んだ」と考えた児童生徒の割合 学習指導要領で掲げる「主体的・対話的で深い学び」の取組成果を図るため設定	全国学力・学習状況調査 設問「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」を合わせた平均値	小学校　78．3% 中学校　79．2%	小学校　90．0% 中学校　90．0%	継続	指導室
3	健やかな体の育成	東京都「児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」における東京都（各学年・男女別）の体力合計点と調布市の体力合計点の比較 現状値と今後の取組を踏まえ、児童生徒の健やかな体を育成するため、東京都の平均値を目標に設定	東京都「児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」	小学校　▲1．8pt 中学校　8．1pt	東京都の平均値を上回る	継続	指導室
		体育の授業における、体力・運動能力向上の目標を立てている児童生徒の割合 体育の授業における学習目標、体育で学ぶことの必要性を理解し、目標を立てて取り組むことが体育・運動能力の向上につながるため、現状値を踏まえ設定	全国体力・運動能力、運動習慣等調査 設問「体力・運動能力の向上の目標を立てている。」に対し「立てている」と回答した児童生徒の割合	小学校 男69．6%　女62．4% 中学校 男65．4%　女60．5%	小学校 男・女　75．0% 中学校 男・女　70．0%	継続	指導室
4	個に応じたきめ細かな支援	通常の学級において、特別な支援が必要な児童生徒のうち、「スクールサポーター等の外部支援による対応」、「通級による指導」及び「知的障害学級相当の指導」が必要な児童生徒の数に対する個別指導計画の作成率 現状値と特別支援教育推進計画を踏まえ設定	実績	小学校　94．8% 中学校　100%	小学校　100．0% 中学校　100．0%	継続	指導室
5	魅力ある学校づくりの推進	休日における地域展開した部活動数 【成果指標変更　※1】 今後の休日部活動の地域展開等に向けた取組を踏まえ設定	実績	0部活	※令和8年度に実施する「調布市立中学校部活動地域連携・地域移行に関する推進計画」の改定にあわせて目標値を設定します。	新規	指導室
6	安全・安心な学校づくりの推進	調布市防災教育の日の参加者数 今後、児童生徒数が減少することを踏まえ、現状維持を目標と設定	実績	31，398人	31，500人 【目標値変更　※2】	継続	教育総務課
7	学校施設整備の推進	耐用年数を基本に、屋上防水・校舎の外壁・受変電設備が予防保全できている学校の割合 これまでの取組を継続し、学校施設を計画的に維持保全するため設定	実績	屋上防水　100% 外壁　100% 受変電設備　100%	屋上防水　100% 外壁　100% 受変電設備　100%	継続	教育総務課 （施設担当）
8	青少年の育成	リーダー養成講習会（ジュニアリーダー講習会、シニアリーダー講習会、レクリエーション講習会）の参加者数及びジュニアサブリーダー講習会の修了証授与者数 これまでの取組を継続し、年間参加者数を踏まえ設定	実績	361人	365人 【目標値変更　※3】	継続	社会教育課
9	生涯学習社会への対応	社会教育施設（図書館）の満足度 図書館サービスの成果を図るには、無作為抽出によるアンケート（市民意識調査）により、市民の満足度を確認することが有効であることから設定	調布市民意識調査	83.5%	87.0% 【目標値変更　※4】	継続	図書館
		公民館の入館者数・事業参加者数 【成果指標変更　※4】 施設予約システム導入の転換期であり、新たに公民館を知り来館・事業参加の増が見込まれ推移を注視することから設定。また、社会教育委員の会議でも提案を受けている。	実績	58，122人	64，000人 【目標値変更　※4】	新規	公民館
10	地域ゆかりの文化の保存と継承	歴史・文化財の保存や継承の満足度 【成果指標変更　※5】 3つの主要事業に関連する市民満足度を指標として設定	【郷土博物館】調布市民意識調査	85.7%	86.0% 【目標値変更　※5】	新規	郷土博物館
		実篤記念館の入館者数・事業参加者数（実篤公園利用者を含む） これまでの取組を継続し、年間参加者数を踏まえ設定	【実篤記念館】実績	38，437人	39，000人 【目標値変更　※5】	継続	

※1　現行プランの成果指標：コミュニティ・スクールの導入校数

※2　現行プランの目標値：30，000人

※3　現行プランの目標値：360人

※4　現行プランの成果指標・目標値：社会教育施設（図書館・公民館）の満足度・図書館85.0%　公民館80.0%

※5　現行プランの成果指標・目標値：郷土博物館・実篤記念館の入館者数・事業参加者数（実篤公園利用者を含む）・55，000人

【成果指標の設定について（現行教育プラン2ページより抜粋）】

●各施策の「ねらい」に対応した「成果指標」を設定
●「児童生徒の意識」にも着目（施策1～3）
●施策ごとに、施策の成果向上を把握するための指標とその現状値・目標値を示しています。
　成果指標は、施策の1つの指標であるため、毎年度実施する「調布市教育委員会の権限に属する事務の点検・評価」に おいては、
　成果指標の結果のみならず、施策に連なる主要事業、主な取組の実績等を総合的に評価したうえで実施します。